

こころの病気の 「知らない」に気づく 「知ってる」を見直す ～挨拶から始める地域の支え合い～



こころの病気は、誰もがなり得る身近な健康問題でありながら、こころの病気に対する誤解や偏見は依然として存在しています。

こころの病気は自分には無関係だと思っていないですか？

こころの病気は生涯を通じて**4人に1人**がかかるともいわれています。



こころの病気についての誤解

こころの病気になると何もできなくなる。



正しい知識

適切な治療や環境を整えることで、回復します。



働いたり、障がい福祉サービスを利用して、地域での自立した生活を送っています。

こころの病気についての誤解

刑事事件に関連する報道のために、危険な人だと思われてしまう。



正しい知識

それは大きな偏見です。



精神障害者等の比率は0.8%で、人口における割合と比較して、高くありません。
(令和5年版犯罪白書)

精神障がいのある方が困っていること

障がいがあるために
特別な目で見られたり、
同情されたり、軽蔑さ
れたりすることは
耐え難い。



外見では
分からない
ために
理解されずに
苦しい。

怖いひととして見られてしまうのは辛い。

周りの方へのお願い

ひとりの人として
さりげなく
接してほしい。



そっと見守ってほしい。

何かが出来ないこと
をかわいそうと
思わないでほしい。

笑顔で挨拶できればいいし、
笑顔で挨拶してくれたら嬉しい



こころの病気の有無や程度に関わらず、すべての住民が健康で
安心して暮らせる地域（地域共生社会）を目指しています。
まずは正しく知ることから始めましょう。

認め合いましょう、誰もが自分らしく生きるために。

<このチラシに関するお問い合わせ先>

福岡県南筑後保健福祉環境事務所 健康増進課 精神保健係

電話番号：0944-72-2176

〒832-0823

柳川市三橋町今古賀8-1（柳川総合庁舎1階）

（対象居住地）大牟田市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、みやま市、大木町、広川町